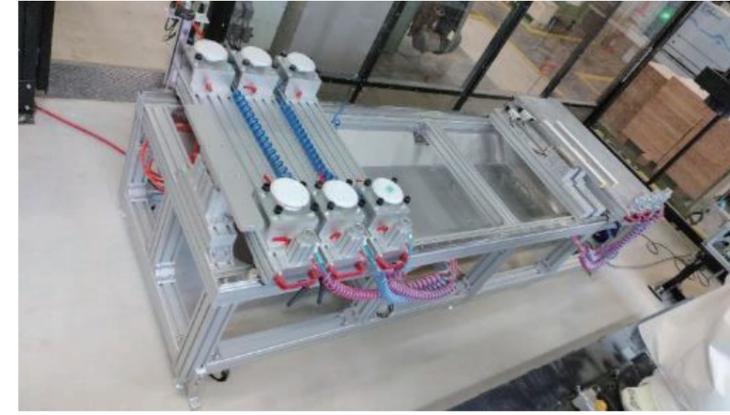


## 最新テクノロジーと職人の技を融合した高度なモノづくり

清水建設東京木工場は、明治17年（1884年）の開設以来、木の文化と技術を伝承し続けています。同時に、時代が要求するさまざまな需要にお応えするために、常に技術革新を続けています。工場には最新の工作機械が導入されており、CNC加工機や木加工ロボットをはじめとする最先端の設備が揃っています。木加工ロボットは、複雑な曲面加工に適していますが、それを使いこなすためには、職人ならではの経験や技が不可欠です。工場には昔ながらの木工職人（社員）が在籍しており、最新テクノロジーと職人の技が融合し、高度な木材加工を実現しています。斬新な内装設計のための高度な木材加工が行われており、その技術や経験は他社に先駆けて多くの建築プロジェクトに活用されています。



木加工ロボット本体



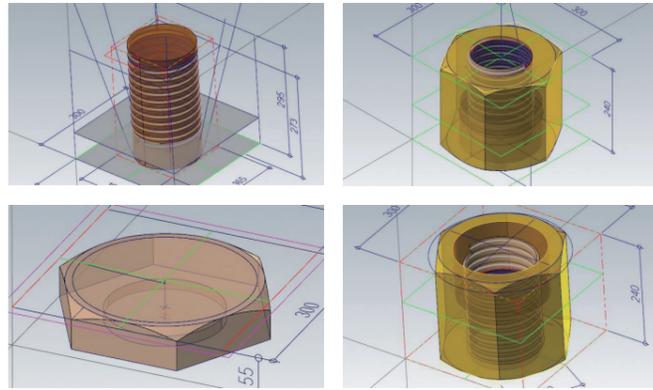
ワーク台



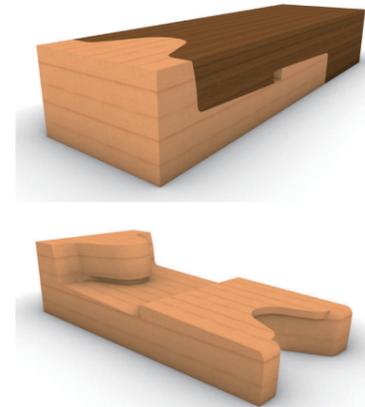
ツールBOX

## 製作事例

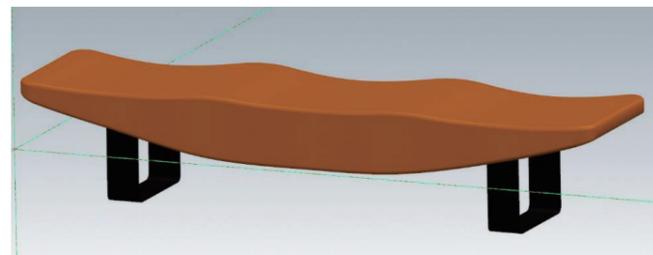
### ボルト型スツールの製作状況



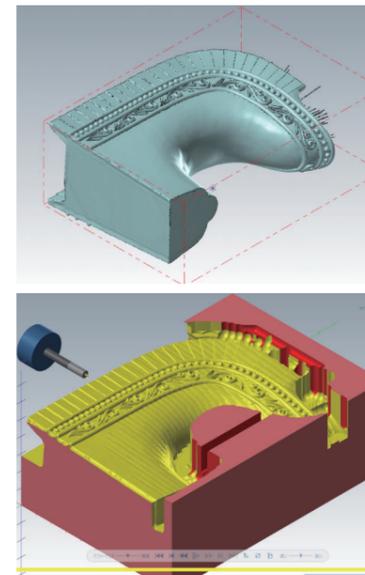
### 新型継手の製作状況



### ラウンドベンチの製作状況



### 鴉尾の製作状況



### 曲面型枠の製作状況

